

1 / 2号機排気筒解体作業における 切断装置動作不良について

< 参 考 資 料 >
2 0 1 9 年 8 月 2 7 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

■ 概要

- 8月21日 午前8時18分から筒身解体装置吊り上げを開始し、午後1時45分に筒身の切断を開始した。
(8月7日に切り残した北西側溶接ビード廻りをチップソー (A) で切断。)
- その後、午後3時頃から残りの筒身をチップソー (BとD) で切断開始しようとした際に、チップソー (B) が動作しないことを確認した。
※吊り上げ前の動作確認時はすべてのチップソーが正常に動作することを確認済み。

■ 調査結果

- 解体装置を地上に下ろした後、装置を取り外すためにケーブル接続箇所の保護チューブを外したところケーブル3本の接続部のうち1本が圧着部より外れていることを確認した。
- 圧着部のケーブルの剥き代長さを測定したところ、剥き代の規定寸法7mm以上に対して、外れたケーブルの剥き代は5mmであることを確認した。
- 適正工具は使用していたものの剥き代の数値管理ができていなかった。

■ 原因

- 当該接続部に対して、ケーブルの剥き代が短いこと、及び圧着端子への挿入部が浅くなっていたことから、チップソー移動時にケーブル接続部へ通常動作時のテンションが加わったことで、接続部が外れたものと推測している。



1 / 2号機排気筒解体作業における切断装置動作不良について

■ 対策

- チップソー 1 台に対し 3 カ所の被覆付圧着端子の圧着接続部があることから、すべてのチップソーに対して接続部の確認（計 1 2 カ所）を行い、圧着の再施工を行った。（被覆付圧着端子使用箇所は当該12箇所のみ）
- その他の接続部に対しても直近の切断に使用する装置について目視や引っ張り等の点検を行う。
- 残りの解体装置についても使用前までに順次、目視や引っ張り等の点検を実施予定。
- ワンスルー※（STEP1～STEP6）を実施後、解体装置の総点検を実施した上で今後の解体作業に向けて、解体手順及び解体装置の運用に関する振り返りを行い、より確実性を高めて以降の解体作業を実施する。

※筒身切断、鉄塔斜材切断、鉄塔支柱切断（一括除却による）の一連の解体装置使用